

公益財団法人 国際科学振興財団 活動の紹介

- ・研究所体制と研究代表者
- ・財団の主な歩み

平成29年

研究所体制と研究代表者

(公財)国際科学振興財団



バイオ研究所

(村上和雄所長) 筑波大名誉教授



情報環境研究所

(大橋力所長) 元文科省
メディア教育開発センター教授



農芸化学研究所

(古川尚道所長) 筑波大名誉教授



シーラカンス研究所

(岡田典弘所長) 東工大名誉教授



再生医工学バイオマテリアル研究所

(赤池敏宏所長) 東工大名誉教授



バイオエコ技術開発研究所

(稲森悠平所長) 元環境研部長・福島大教授



時間生物学研究所

(石田直理雄所長) 元産総研上席研究員

財団の研究プロジェクト(抜粋)

1. 概要

本事業は、財団研究員から申請された研究テーマについて、学術審査検討委員会において審査し、財団が公益目的事業として進めるにふさわしいと決定を受けた研究開発事業である。平成27年度は52件が実施された。

2. 内容

平成27年度における分野ごとの研究テーマ数は次の通り。なお、研究テーマ一覧における分類は研究員(チーム)ごとに行なっており、複数のテーマが含まれている場合がある。

- ・社会科学分野:12テーマ
- ・物質科学分野:5テーマ
- ・情報科学分野:8テーマ
- ・生命科学分野:23テーマ
- ・環境科学分野:4テーマ

<社会科学> (8グループ・12テーマ)

- (1)・ハイパーソニック・エフェクトの研究
・ハイパーソニック・エフェクト発言メカニズムの研究

財団主席研究員 大橋 力
財団主幹研究員 河合 徳枝

- (2) 総合コミュニケーション科学を基盤とする創造的人材育成システムに関する研究

財団特任主席研究員 梶谷 誠

- (3) 超高輝度X線発生装置製品化のための基礎研究

財団特任主席研究員 坂部 知平
財団特任研究員 坂部 貴和子

- (4) 新たな心理テストの開発ー産業人の心理ストレスの把握ー

とよさと病院付属筑波社会精神医学研究所所長
佐藤 親次

<物質科学> (5グループ・5テーマ)

- (1) 新規有機硫黄化合物の合成研究

財団主席研究員 赤坂 健

- (2) 環境工学に係わる形状記憶材料の基礎と応用に関する研究ー優れたダンピング材料を求めてー

財団特任研究員 大塚 和弘

- (3) 有機合成、有機分解反応における炭素ーヘテロ原子結合の導入とその反応に関する研究

財団主席研究員 古川 尚道

- (4) メタマテリアルを用いた薄型電波吸収体の研究

防衛大学校准教授 道下 尚文

- (5) 形状記憶合金の開発と基礎研究

財団主席研究員 宮崎 修一

<情報科学> (4グループ・8テーマ)

- (1)・移動通信用アンテナの研究
・タイヤからの電波放射特性と金属面の放射改善研究

防衛大学校准教授 道下 尚文

- (2)・高誘電率材料を用いたマルチバンドアンテナの小型化に関する基礎研究

・将来レーダに関する広帯域小型アンテナの研究
・小型アンテナおよび車載アンテナに関する研究
・電磁波散乱現象評価のための測定と計算
防衛大学校教授 森下 久

- (3) 高利得小型アンテナの電波放射特性と電波散乱の研究

元防衛大学校教授 山田 吉英

<生命科学> (20グループ・23テーマ)

- (1)・細胞認識機能を有するバイオマテリアルの設計とその医学・薬学への応用
・炭酸アパタイトの機能性・安全性・安定性に関する研究

財団主席研究員 赤池 敏宏
財団研究員 カコン ナグ
財団研究員 関 禎子

- (2) Gタンパク質の作用機構と疾患ーGタンパク質共役受容体の新しい制御ー

東京大学講師 飯利 太郎

- (3) 外科学に関する研究ー低侵襲手術の開発と教育ー

東京慈恵会医科大学外科学講座統括責任者
大木 隆生

- (4) 大進化の分子機構

財団主席研究員 岡田 典弘

- (5) 受精のしくみに関する研究ー動物・植物を通じた受精の本質の概念的認識ー

大阪大学遺伝情報実験センター特任研究員
岡部 勝

- (6) 音響情報を用いた認知症行動・心理病状に対する新規非薬物療法の開発

財団主幹研究員 河合 徳枝

- (7) 生物機能の基礎解析および応用研究

筑波大学教授 小林 達彦

- (8) 胃切除後障害の診断・治療体系の確立

東京慈恵会医科大学准教授
中田 浩二

財団の主な歩み(1)

- 昭和52年(1977)9月20日設立
初代会長:土光敏夫[経団連会長]
- 昭和53年(1978)9月 試験研究法人許可
- 昭和56年(1981)3月 特定公益増進法人指定
- 昭和57年(1982)6月
第2代会長:稲山嘉寛[経団連会長]
- 昭和60年(1985)3月
『科学大辞典』刊行(丸善)
国際科学技術博覧会開催(博覧会協会長:土光敏夫)
- 昭和62年(1987)10月
第3代会長:吉山博吉[経団連副会長]
- 平成10年(1998)6月
第4代会長:中西真彦[東京商工会議所副会頭]

財団の主な歩み(2)

- 平成11年(1999)3月
環境対応/省エネ型半導体製造研究Project発足(産・学協働)
研究代表者の大見忠弘教授が「第1回産学協働/内閣総理大臣賞」受賞
- 平成12年(2000)4月
イネ遺伝子の解読Project発足(政府ミレニアムプロジェクト)
国家事業として位置付けられアメリカはじめ他国に先駆けて解読に成功
- 平成13年(2001)9月
第5代会長(現):大竹美喜[経済同友会幹事]
「次世代を担う高校生未来塾」発足
- 平成15年(2003)4月
放射光利用蛋白質結晶構造解析Project発足
(産・学・官協働=KEK、大学、製薬9社)
- 平成17年(2005)4月
『科学大辞典』第2版刊行(丸善)
- 平成19年(2007)4月
つくばWAN運用開始

財団の主な歩み(3)

- 平成20年(2008)4月
特例民法法人移行
- 平成23年(2011)8月
内閣府より公益財団法人認定
- 平成25年(2013)
大竹会長:内閣「教育再生実行会議」委員就任
- 平成26年(2014)
6研究所体制スタート(28年には7研究所)
マカオ大学15名のサイエンス交流実施(JST委託事業)
- 平成27年(2015)
1月内閣府検査(問題点無し)
トルクメニスタン科学アカデミー研究者13名のトレーニング実施
- 平成28年(2016)
3月つくばWAN、SINET(国立情報学研究所)に移行
- 平成29年(2017)
7月内閣府より公益財団法人の再認定
(「学術会議開催、研究開発実施」を公益目的事業とする)

FAIS Location



住所: つくば市春日3-24-16

TEL: 029-860-3333

URL: www.fais.or.jp